

平成27年度以降のフォローアップ調査計画

－防災－

調査名	調査項目	調査地点	調査手法	調査頻度
浸透状況	堤体からの漏水、湿潤化等	長良川沿川	目視観察	毎日
地下水位	地下水位	中川、松川、五町－2、大須－2	水圧式、フロート式	1回/時間
塩分	地下水中の塩化物イオン濃度	NO. 18	採水分析	1回/年

注) 地下水位の観測(4地点)は、東海三県地盤沈下調査会において実施されている。

－水質及び底質－

調査名		調査項目	調査地点	調査手法	調査頻度
水質	一般調査	水温、DO、クロロフィルa、塩化物イオン濃度、BOD、COD、pH、T-N、NO ₂ -N、NO ₃ -N、NH ₄ -N、T-P、PO ₄ -P、TOC、フェオ色素、植物プランクトン	長良大橋、南濃大橋、東海大橋、長良川大橋、伊勢大橋、K-1(4.0k)	採水分析	1回/月
	特別調査	DO(河床面直上を含む)、クロロフィルa、濁度等	適宜	採水分析、センサー観測等	随時
水質監視		水温、DO、クロロフィルa、塩化物イオン濃度	大藪大橋、南濃大橋、東海大橋、長良川大橋、伊勢大橋、揖斐長良大橋、城南、弥富	水質自動監視装置	1回/時間
水面監視		藻類の集積状況等	適宜	目視	随時
河床変動		河床高	5.2k 5.0k、4.0k、3.0k	標尺直読 音響測深機	出水前、出水後
底質		粒度組成、強熱減量、酸化還元電位、フェオ色素、クロロフィルa、T-N、T-C、pH	10.0k、6.0k、5.0k、4.0k、3.0k、1.0k、-0.6k	採泥分析	1回/年(夏)+出水後

平成27年度以降のフォローアップ調査計画

ー生物ー

調査名		調査項目	調査地点	調査手法	調査頻度	
魚類の遡上・ 降下状況	稚アユの遡上状況	遡上数	河口堰左岸呼び水式魚道	ビデオカメラによる確認	2～6月/年	
		全長組成	長良川(河口堰左岸呼び水式魚道、穂積大橋)、木曽川(犬山頭首工下流)、揖斐川(万石)	手網、投網、刺網、小型地曳網等による採集	4～6月/年	
	仔アユの降下状況	降下数	河口堰左岸呼び水式魚道、河口堰右岸せせらぎ魚道、調節ゲート(2箇所)	プランクトンネットによる採集	2回/年 (11～12月)	
	サツキマスの遡上状況	市場入荷数	岐阜中央卸売市場	市場入荷数の聞き取り	4～7月/年	
	回遊性底生魚などの 遡上状況	種類、個体数、 全長・体長・体重組成、	河口堰右岸せせらぎ魚道	ミニトラップによる採集	7回/年(4～5月)	
			48km付近	登り落ち漁による採集	3回/年(6～7月)	
動植物や魚 介類の生息 状況	魚類	種類、個体数、 全長・体長・体重組成、	N1～N9、E1、E2	手網、投網、刺網、小型地曳網等による採集	1回/5年程度(夏)	
	底生動物	種類、個体数、湿重量	N1～N9、E1、E2、3k、4k	定量調査:エクマン・バージ型採泥機による採泥、もしくはコドラート付きサーバーネットによる採集 定性調査:Dフレームネットあるいはサデ網による採集	1回/5年程度(夏冬)	
	植物	種類、全高、被度、群度、 横断分布	N4～N8、N1R	ベルトトランセクト法	1回/10年(夏)	
	鳥類	河川敷鳥類	種類、個体数、確認位置	N1、N2、N4、N5、N8、－1～ 2k左右岸、25～29k左岸	スポットセンサス法	1回/10年 (繁殖期、越冬期)
		河川水鳥	種類、個体数、確認位置	N3、N6、N7、12～13k右岸、 37～40k右岸	スポットセンサス法	1回/10年 (繁殖期、越冬期)
	両生類・爬虫類・哺乳類	種類、個体数、確認位置	N1～N8	フィールドサイン法、トラップ法、捕獲法、 目撃法、無人撮影法	1回/10年(夏)	
	陸上昆虫類	種類、個体数、確認位置	N1～N8	任意採集法、スウィーピング法、ライトトラップ 法(ボックス法)、ピットフォールトラップ法	1回/10年(夏)	
	特定テーマ 観測	ヨシの生育状況	生育状況	7. 1km左岸、9. 0km左岸、 11. 8km左岸、9. 8km右岸	定点写真撮影	1回/10年(夏)
水生植物		平面・垂直分布	水植1、2、5～8	目視、藻狩り、潜水目視	1回/10年(夏)	

注) 生物の調査のうち、「動植物や魚介類の生息状況」は、河川水辺の国勢調査に準じて実施する。